取扱説明書

リーチバランサー

RB-1500

・御利用頂く前に、必ず本取扱説明書をお読み下さい。
・本取扱説明書は、紛失しない様に大切に保管して下さい。

平成 9 年 03 月作成
適用図面No 233

御利用頂く前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さいまして、常に正しい操作と正しい取扱いを行い、作業能率の向上にお役立て下さいます様よろしくお願い申し上げます。

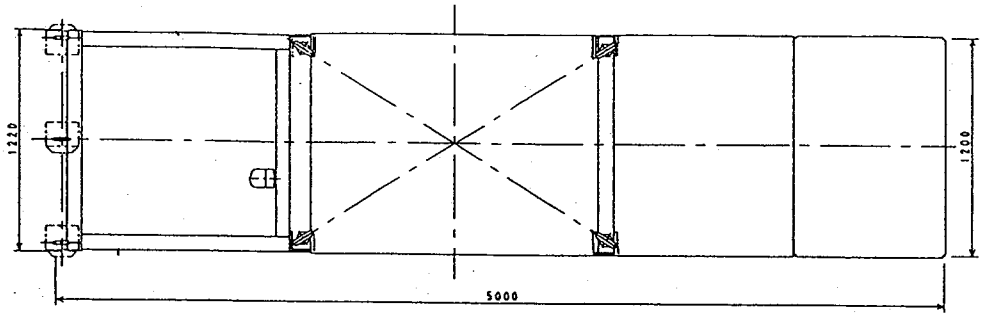
～注意～

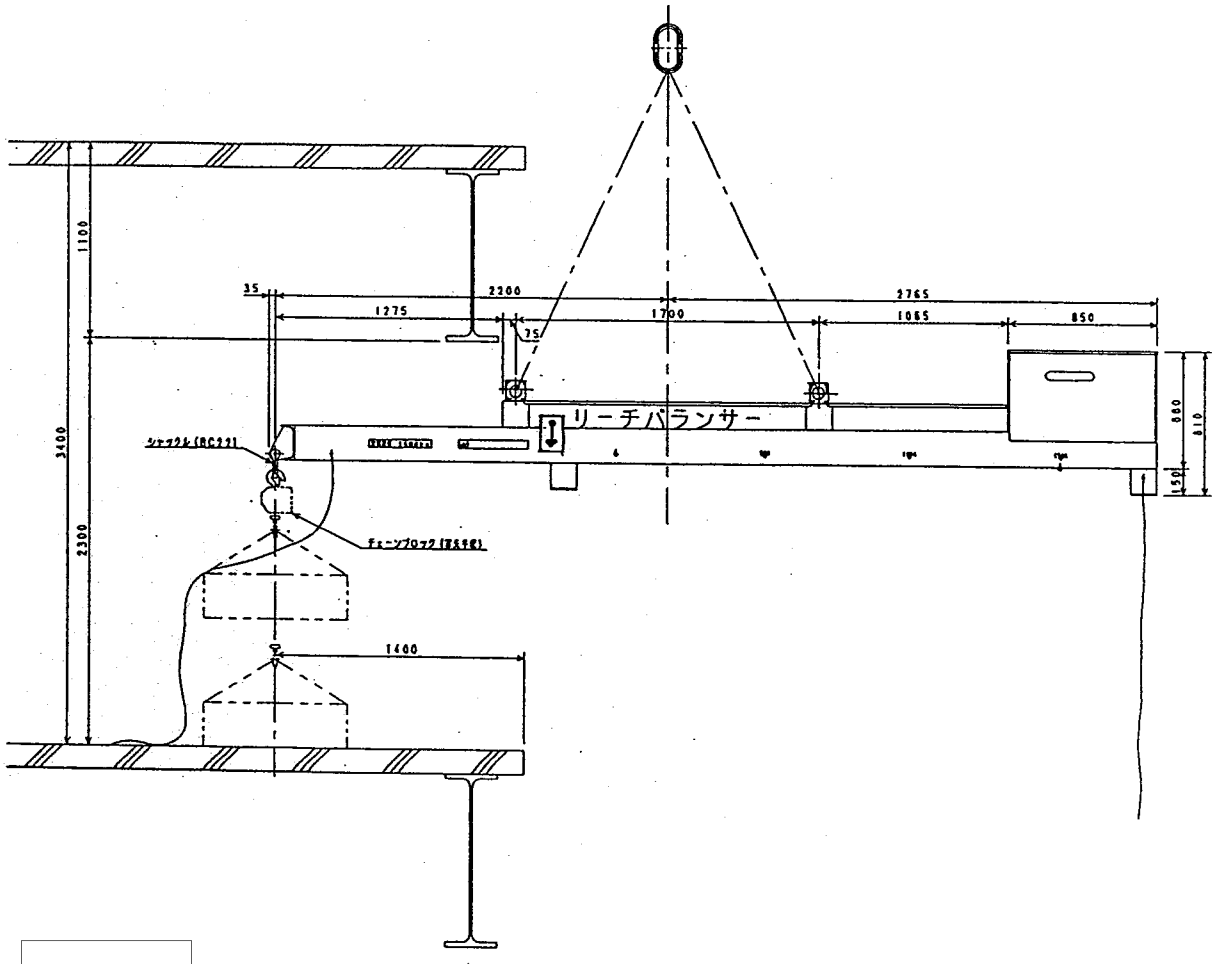
- 本取扱説明書は紛失しない様、大切に保管して下さい。
- 本取扱説明書に反する使用は、故障を起こすばかりでなく死亡事故等につながり、非常に危険を伴いますので、絶対にしないで下さい。

目　次

外観図及び主仕様 ---------- 1
各部の名称 ---------- 2
始業点検 ---------- 3，4
使用手順 ---------- 5，6
安全に作業を行う為に ---------- 7～11
バッテリーの取扱い ---------- 12～14
オプション吊具 ---------- 15

外観図

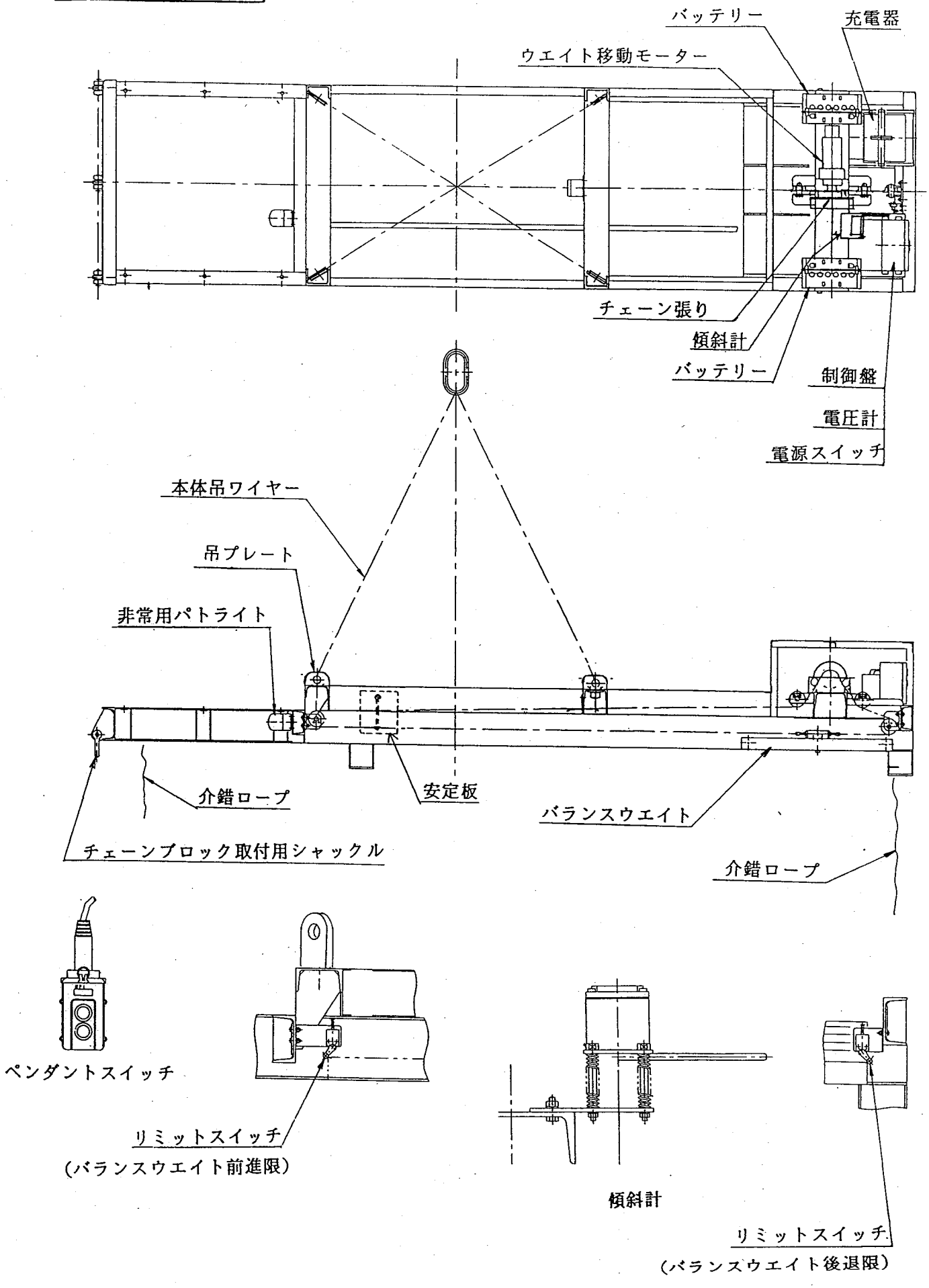




主仕様

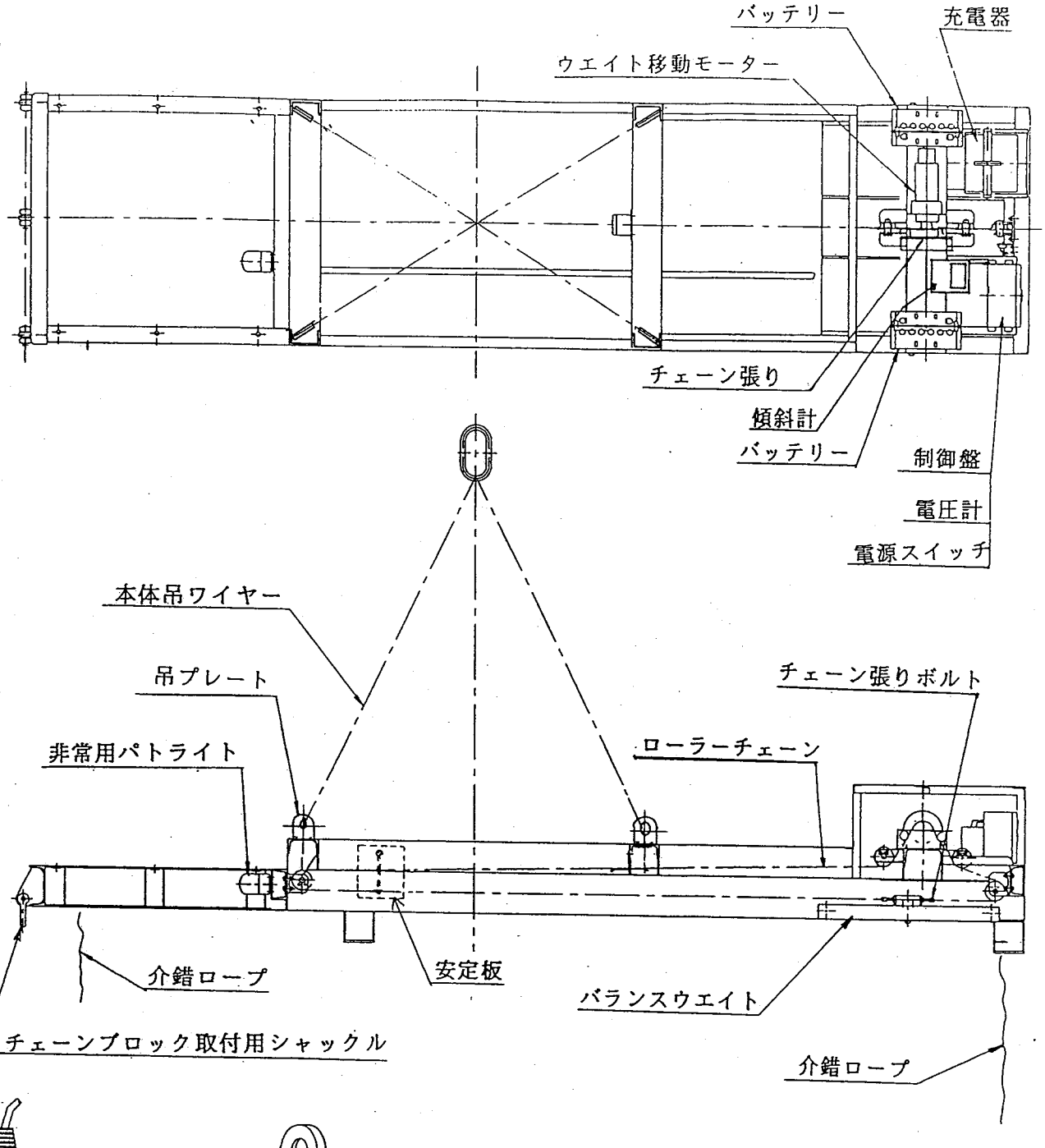
吊り荷重	定格　１５００kg
平衡	本体内臓バランスウエイト移動（ペンダント操作）
吊操作	チェーンブロック方式
電源	ＤＣ２４Ｖ　充電器内蔵
外寸	５０００^{L} ×１２２０^{W} ×８１０^{H}
標準色	ＤＩＣ８６　大日本インキ化学（黄色）
自重	約２０５０kg

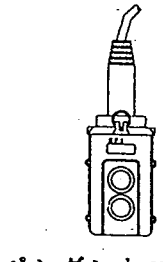
各部の名称


バッテリー
充電器
ウエイト移動モーター
チェーン張り
傾斜計
バッテリー
制御盤
電圧計
電源スイッチ
本体吊ワイヤー
吊プレート
非常用パトライト
介錯ロープ
安定板
バランスウエイト
チェーンブロック取付用シャックル
介錯ロープ
ペンダントスイッチ
リミットスイッチ
(バランスウエイト前進限)
傾斜計
リミットスイッチ
(バランスウエイト後退限)

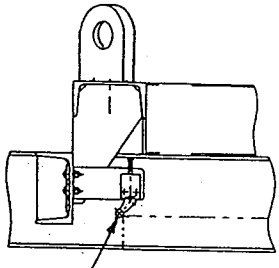
2

始業点検

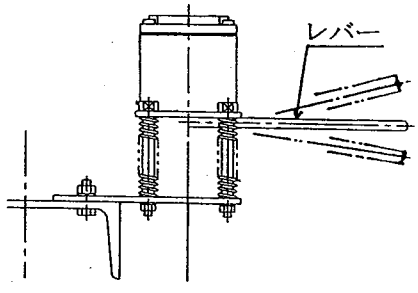




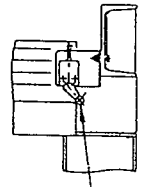
ペンダントスイッチ



リミットスイッチ
(バランスウエイト前進限)



傾斜計



リミットスイッチ
(バランスウエイト後退限)

始業点検表

※コピーした物を使用して下さい。

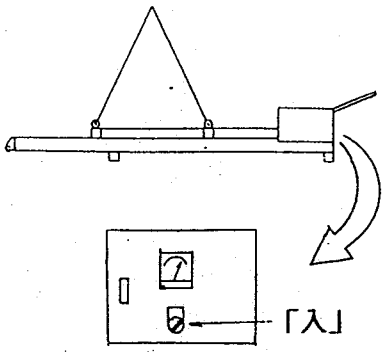
チェック項目		チェック（該当部を○で囲む）	備考
1	ウエイト移動用チェーン		
	ローラチェーンの破損等の異常はないか。	正常・異常	
	ローラチェーンにサビはないか。	無し・有り	適度な給脂を行ってください。
	ローラチェーンにたるみはないか。　注．1	正常・異常	ボルトを廻したるみをなくしてください。
2	吊プレート		
	吊プレートの破損等の異常はないか。	無し・有り	本体上部４ケ所
	溶接の割れはないか。	無し・有り	
3	先端部の吊部		
	チェーンブロック取付用のシャックルに異常はないか。	正常・異常	
	チェーンブロックを取付ての異常はないか。	正常・異常	
4	バランスウエイト		
	ウエイトの移動が出来るか。	正常・異常	
	前進限で自動停止するか。	正常・異常	
	後退限で自動停止するか。	正常・異常	
	動作時に異常音がないか。	無し・有り	
5	傾斜計		
	本体がφ°傾いた時、パトライトが点灯しブザーが鳴るか。	正常・異常	注．2
6	その他		
	各部のボルトの緩み及び、外れはないか。	無し・有り	
	配線の断線はないか。	無し・有り	
	電源「入」時、電圧計の指針は２５Ｖ以上になっているか。	正常・異常	
	電装部品のスイッチ類の破損等はないか。	無し・有り	ペンダントスイッチ制御盤、充電器
	バッテリー液は充分入っているか。	正常・異常	
	バッテリー液がもれていないか。	正常・異常	
	各溶接部に異常はないか。	正常・異常	
	安定板は動作するか。	正常・異常	

注．１　ウエイトが右端又は左端の時にチェーンのたるみを見て下さい。
　　少しのたるみは問題ありません。但し張り過ぎない様注意して下さい。

注．２　本体を吊り傾斜させるか又は、傾斜計のレバーにて傾けるかして下さい。

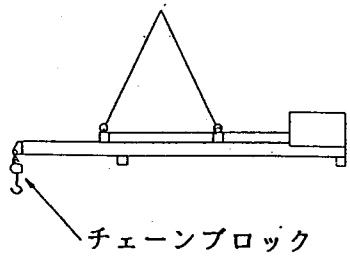
使用手順

［1］



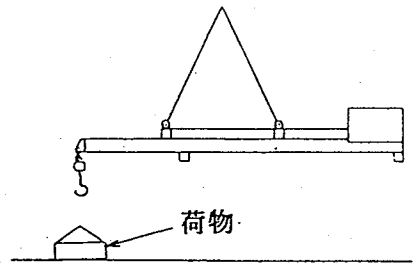
本体後面のカバーを開け、制御盤の電源を「入」にします。

［2］



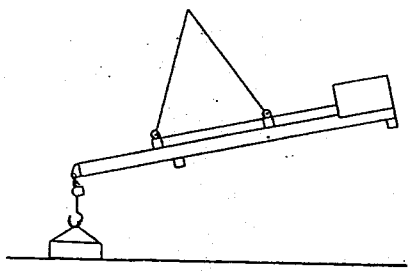
シャックルにチェーンブロックを取付けて下さい。
（チェーンブロックはお客様の方で用意して下さい。）

［3］



本体を荷物の上まで移動します。

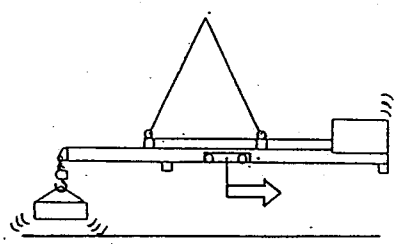
［4］



（上図は判りやすくするため、極端な傾斜で示しています。）

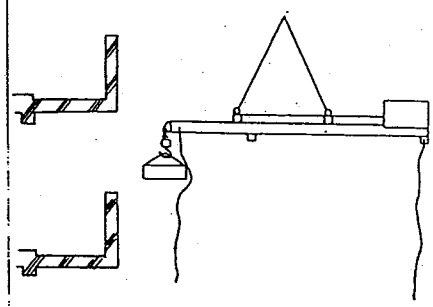
荷物をチェーンブロックのフックに引っ掛けてから、本体を少し持ち上げ傾斜をつけて下さい。

［5］

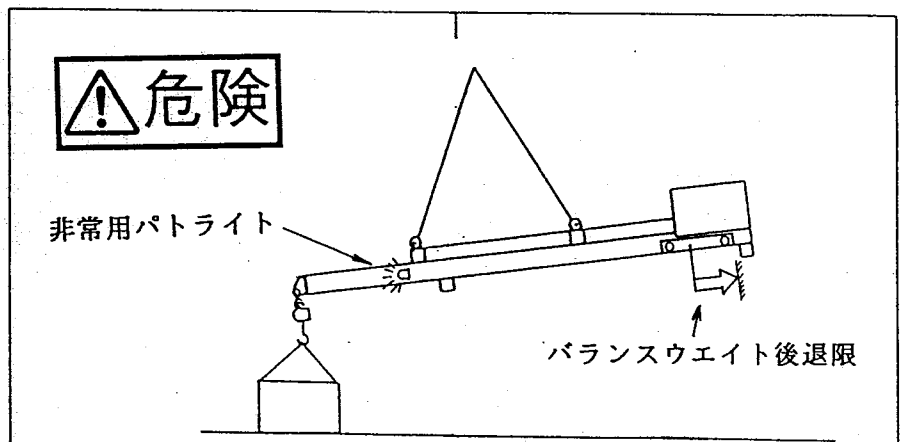


ペンダントスイッチの「後」ボタンで、本体が水平になる様に本体内蔵のバランスウエイトを移動します。

［6］



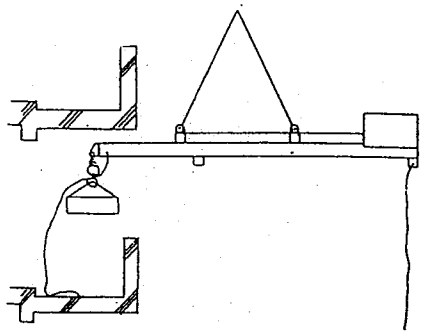
本体を目的の高さまで昇降させます。



非常用パトライトが回転しブザーが鳴ったら荷重オーバーです。作業を中断して荷物を取り除いて下さい。

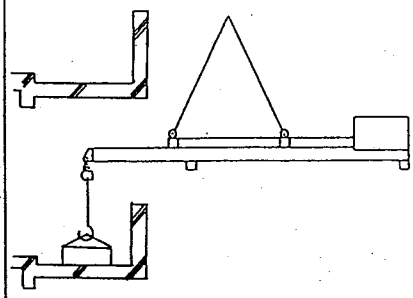
バランスウエイトが一番後まで行っても水平にならない時は吊り荷の荷重オーバーです。絶対に吊らないで下さい。落下の恐れがあります。

［7］



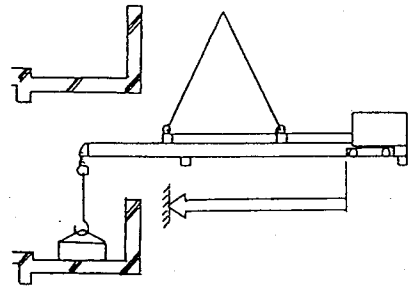
本体を目的の高さまで昇降させたら、介錯ロープで中へ引き込みます。

［8］



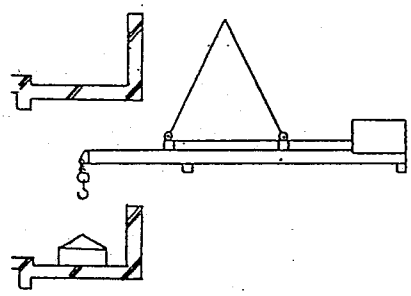
チェーンブロックで荷物を床へ接地させます。

［9］



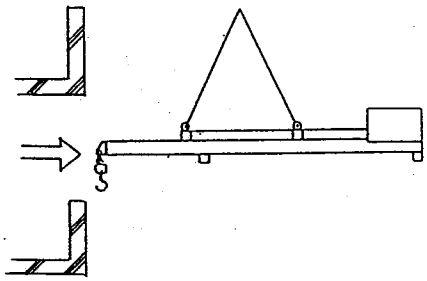
ペンダントスイッチの「前」ボタンで本体のバランスウエイトを一番前まで移動します。

［10］



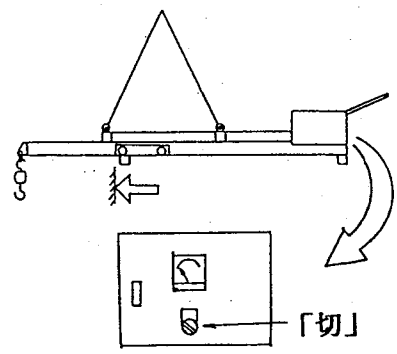
荷物をチェーンブロックより外して、チェーンブロックのフックを上昇差せておきます。

［11］

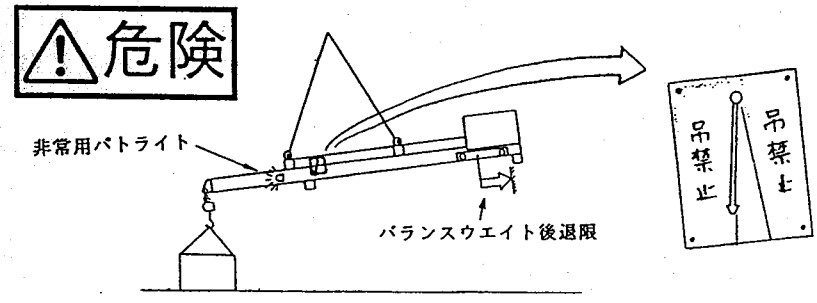


本体を外側へ移動します。

［12］



作業終了時は、バランスウエイトを必ず一番前まで移動させてから制御盤の電源を「切」にします。



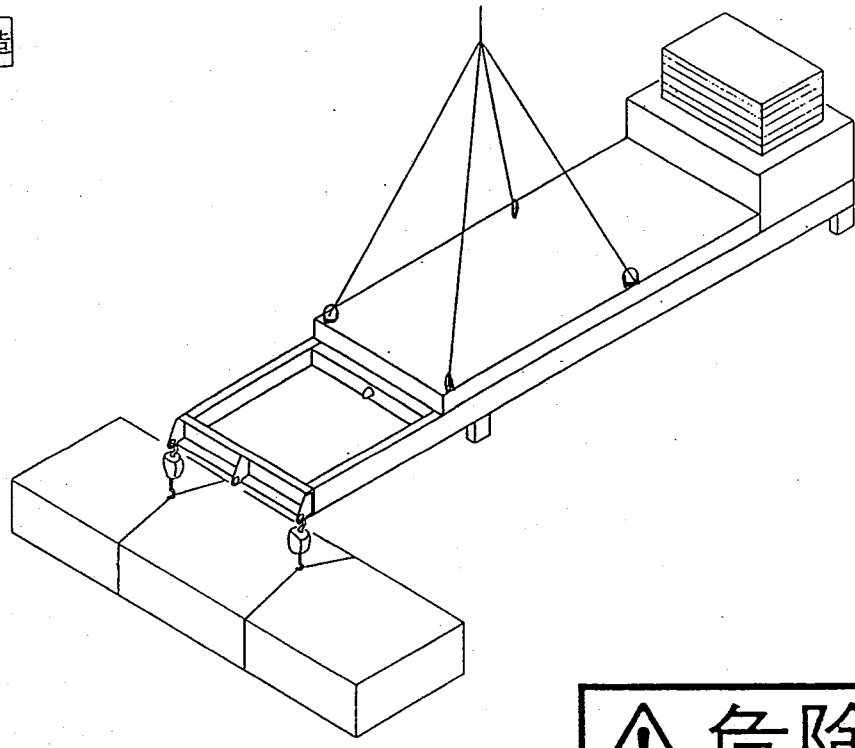
安定板の矢印が吊禁止の所へ来た時は、荷重オーバーです。
作業を中断して荷物を取り除いて下さい。

安全に作業を行う為に

・お客様による改造及び、無理な使用方法は絶対にしないで下さい。

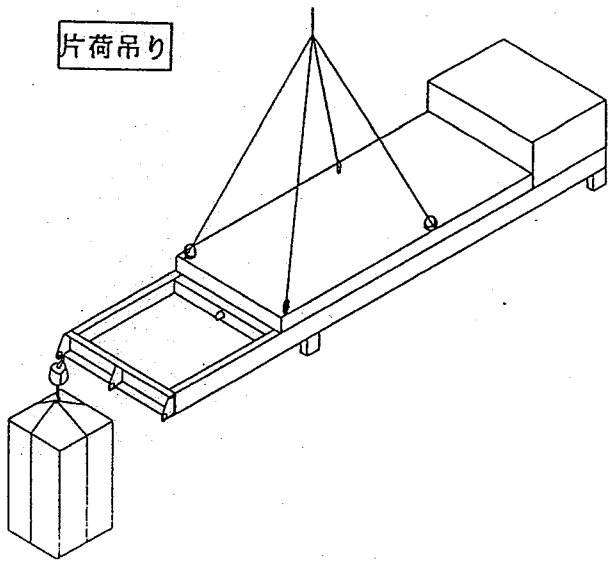
バランスウエイト追加改造

本体改造

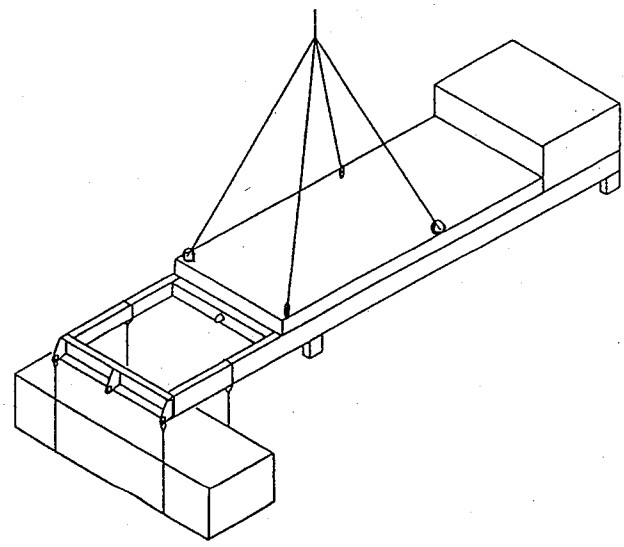


⚠危険

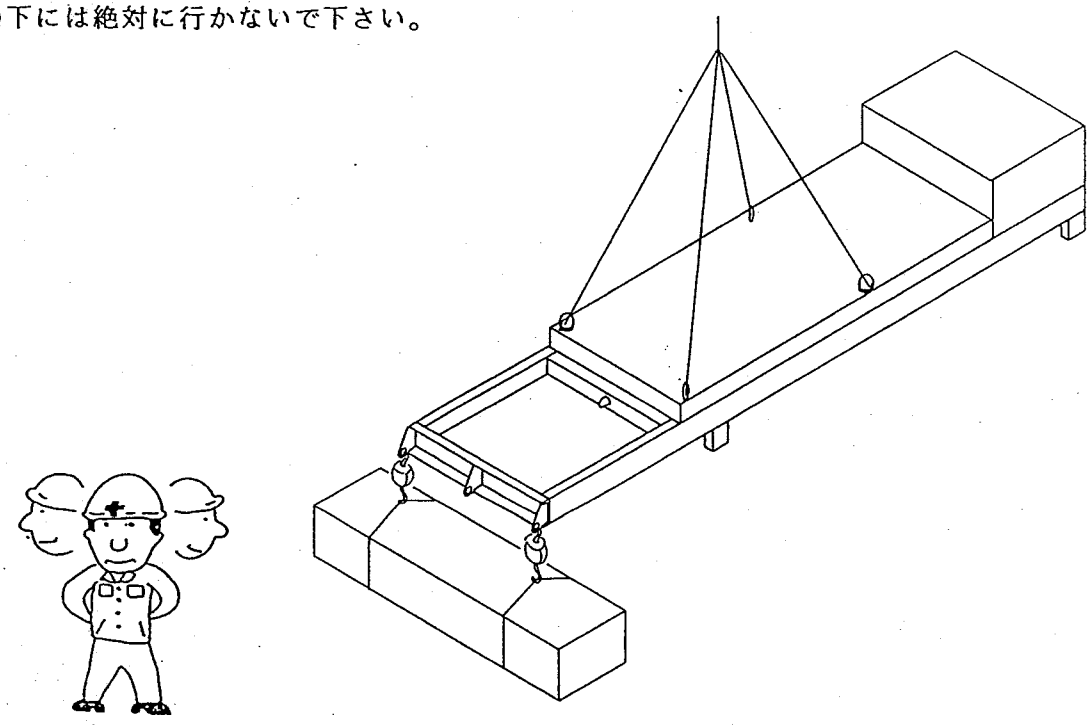
片荷吊り



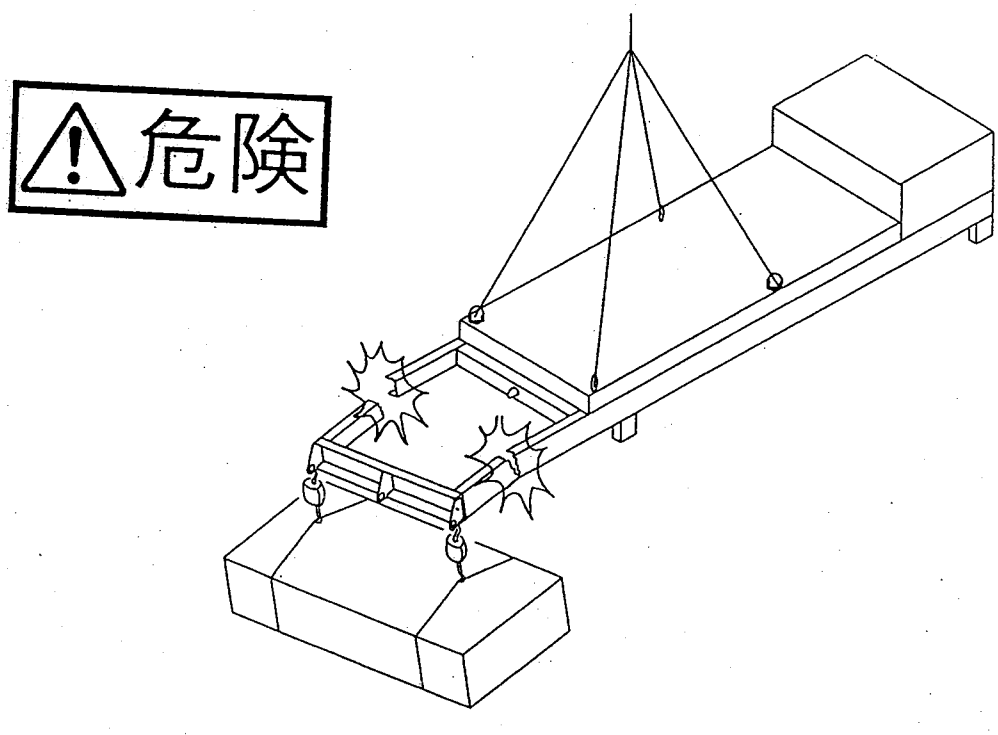
誤った吊り方法



・周囲の状況を良く確認した上で慎重に操作を行って下さい。
　特に周囲の作業員には、充分注意して下さい。
・吊荷の下には絶対に行かないで下さい。



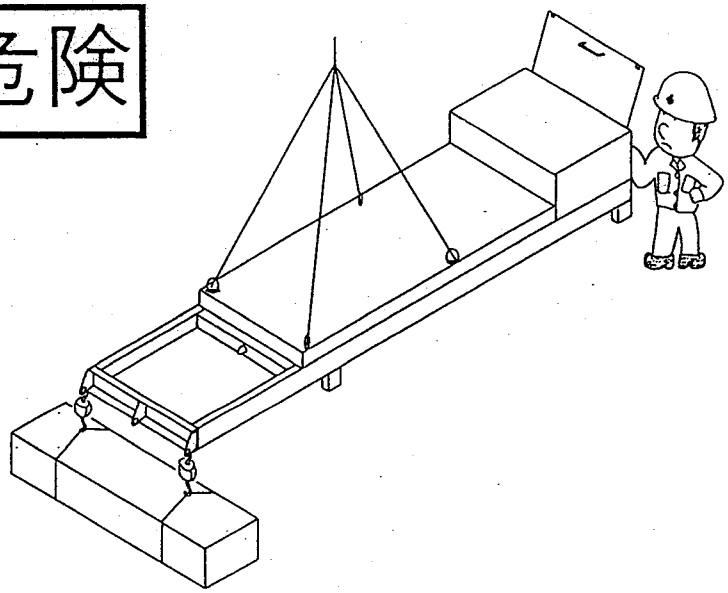
・吊り荷重（１５００kg）を越える物は絶対に吊らないで下さい。
　本体の故障及び事故の原因となります。



8

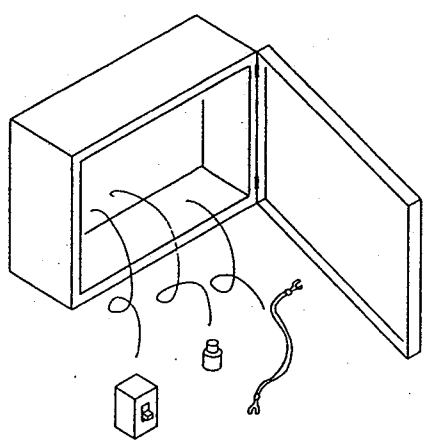
・物を吊った状態での電源の「入」・「切」は絶対にしないで下さい。
危険です。

⚠危険

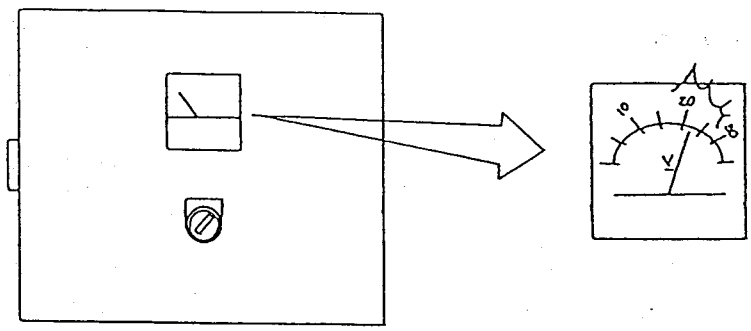


・充電器等、電装部品の分解は絶対にしないで下さい。
故障の原因となります。

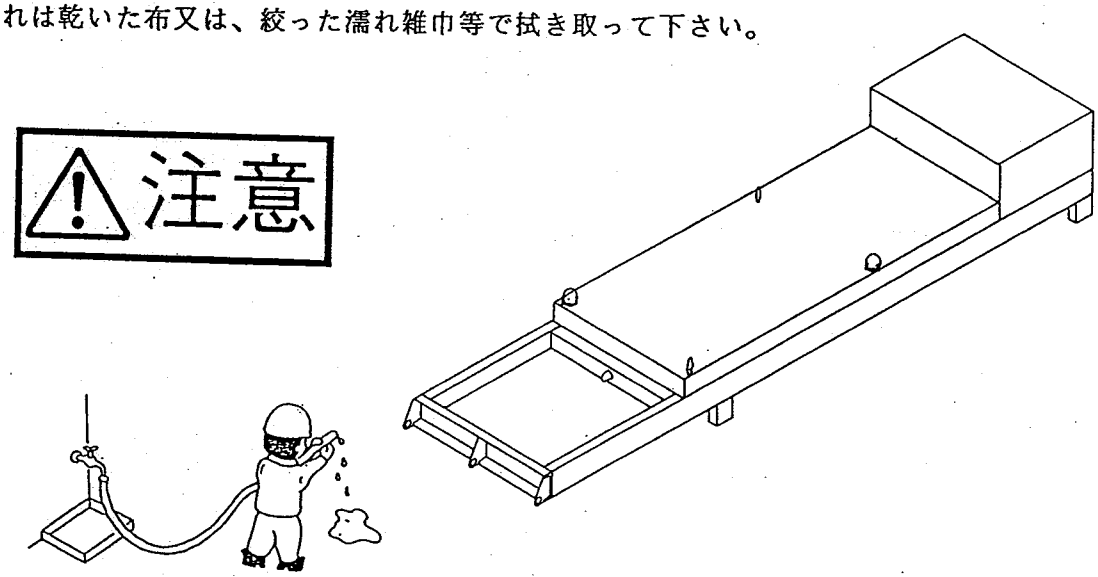
⚠注意



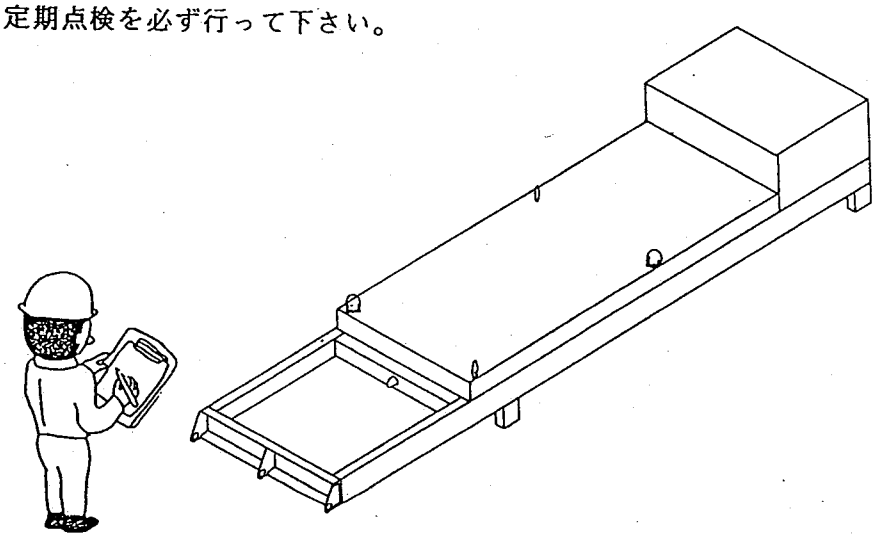
・電圧計の指針が２５Ｖ以下になった時は、直ちにバッテリーの充電を行って下さい。



・電装部品保護の為、本体の洗浄は絶対にしないで下さい。
汚れは乾いた布又は、絞った濡れ雑巾等で拭き取って下さい。



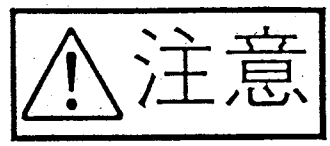
・点検表に基づいた定期点検を必ず行って下さい。



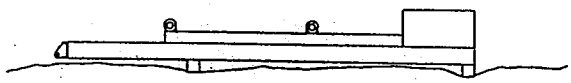
［保管場所］

～注意～

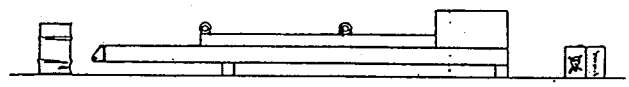
下記の様な場所での保管は、絶対にしないで下さい。



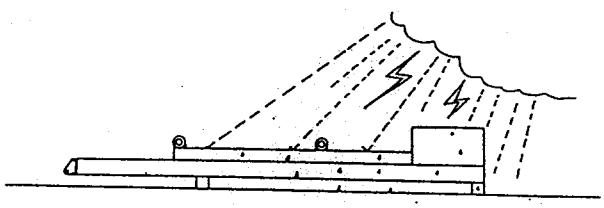
1．地面に凹凸のある場所



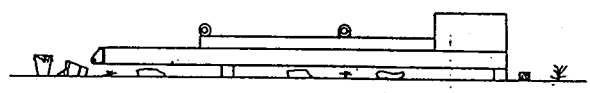
2．腐食性の強い薬物の近く



3．雨や雪のかかる場所



4．ゴミや粉塵のある場所

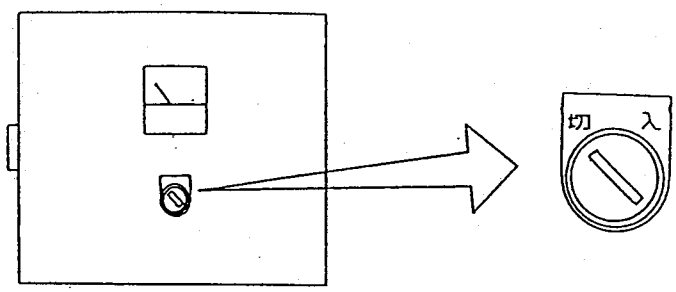


バッテリーの充電方法

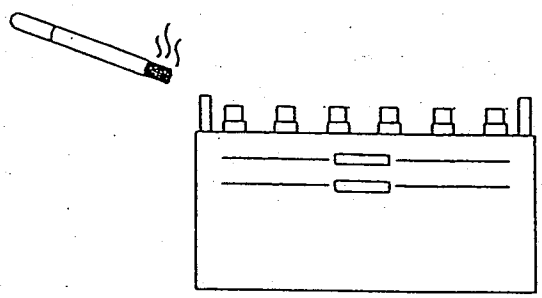
電圧計の指針が２５Ｖ以下になった時は、直ちにバッテリーの充電を行って下さい。
※尚、充電方法は後面扉の内側にシールが貼ってあります。

～充電時の注意事項～

１．本体の電源が「切」になっているか確認して下さい。



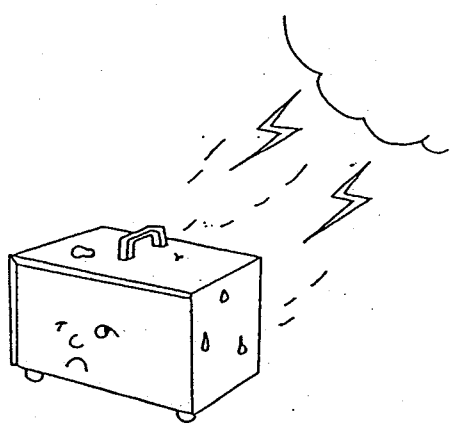
２．バッテリーの使用中又は充電中は、絶対に可燃物を近づけないで下さい。
火災の原因となります。



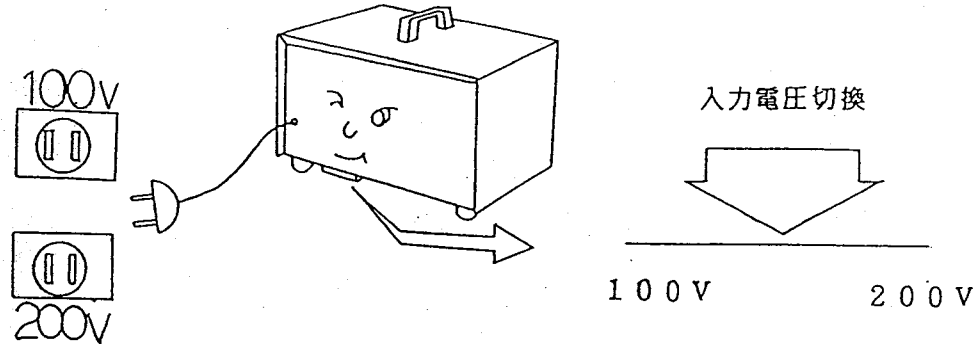
⚠危険

３．雨や雪等のかかる場所では、絶対にしないで下さい。
漏電等の原因となります。

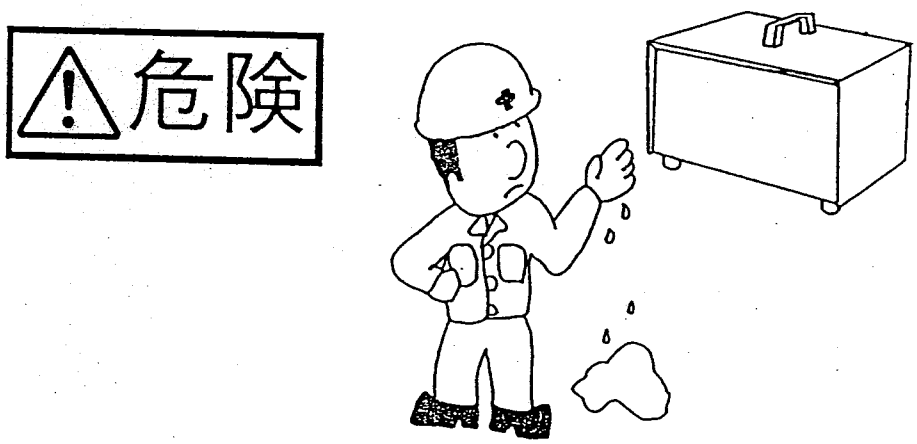
⚠注意



4．充電器の電源は、本器下側の入力電圧切換で１００Ｖ、２００Ｖ
に切換えて、コンセントに差し込んで下さい。



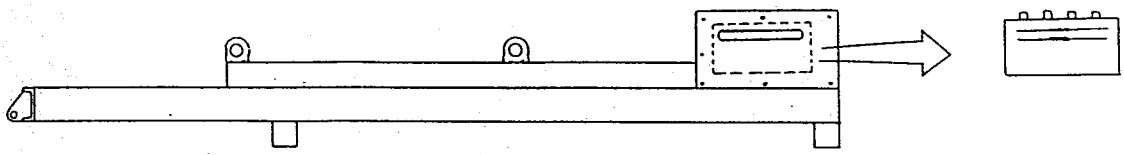
5．充電する時は、絶対に濡れた手で触らないで下さい。
感電等の事故につながり危険です。



6．充電は風通しの良い場所で行って下さい。

[バッテリーの取扱い]

1．バッテリー液は次第に減少しますのでその度、補給して下さい。
減り具合は、本体の側面カバーの穴より見る事ができます。

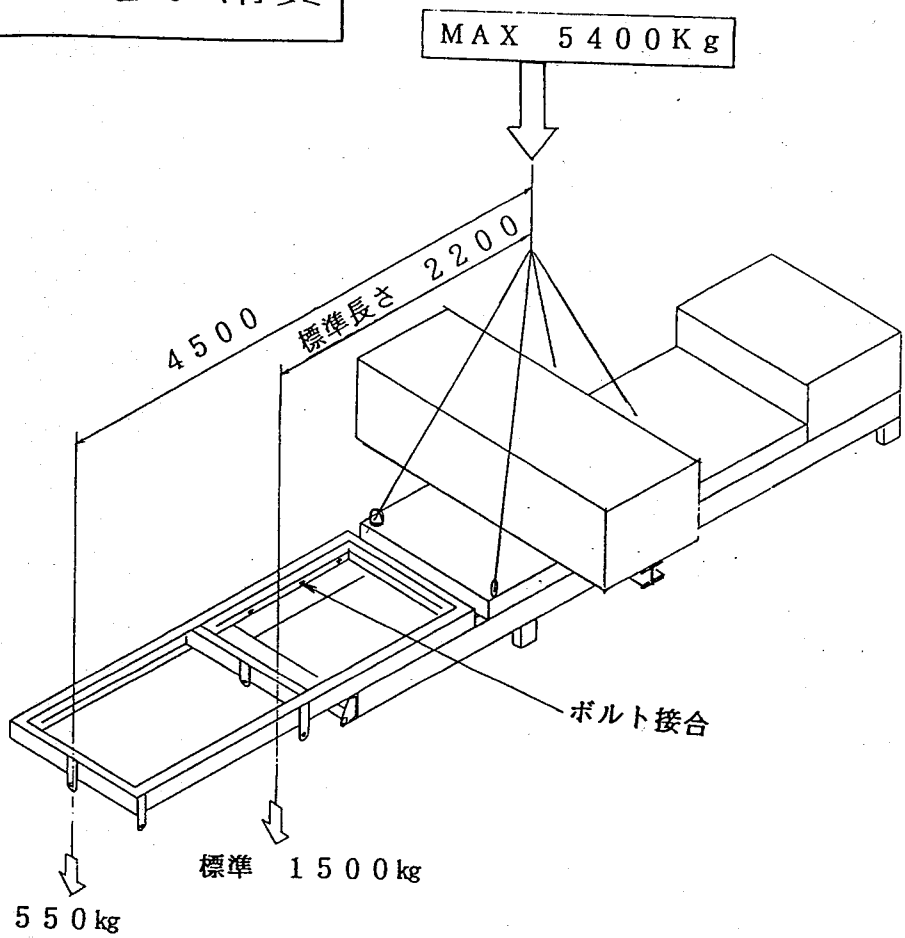


“ＬＯＷＥＲ　ＬＥＶＥＬ”のライン上又は、それ付近に液面があれば
側面カバーを外してからバッテリーの液口センキャップを外して、
“ＵＰＰＥＲ　ＬＥＶＥＬ”のライン付近までバッテリー液を補給して下さい。

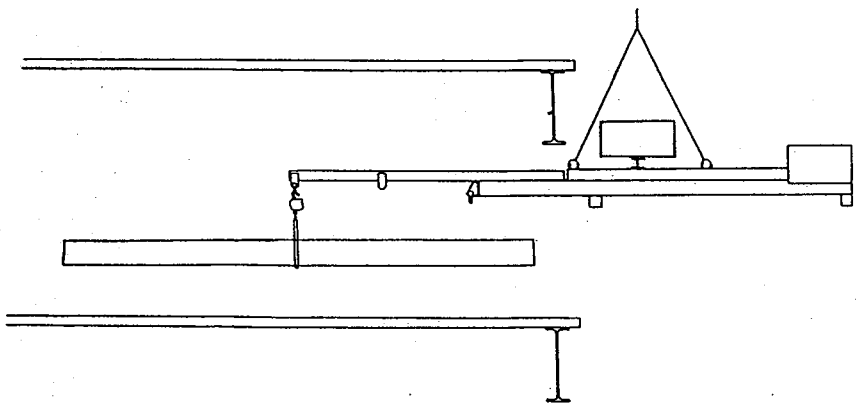
～注意～
本体の電源は「切」になっているか確認してから行って下さい。

14

オプション吊具



・図の様に吊位置を長くしたい時は、オプションにて吊具を制作します。
・ボルト接合にて取外し可能です。
・吊荷重は標準の位置で1500kgです、長くなる程軽くなります。
（図は参考数値です）
・必要に応じて，ジャピタスを搭載できます。
（ジャピタスは、三菱重工の吊荷制御装置の商標です。）



装着例